

## 資料⑳

### 心理検査を活用した学級経営

#### ◎hyper-QUの結果から

生徒の満足感に大きく差のあったクラス（図1参照）

##### □ 6月の状態

満足できている生徒たちとそうでない生徒たちとに大きく分離している。不満感の高い生徒たちは、学級内で不適応感が強く、ストレスが高まっている。教師や友達から認められているという思いや自分らしく活動できる・したいという意欲が著しく低く、学級内で建設的に活動・生活できる心理状態になっていない。

##### □ 対応

- ・ 短期間ででき、ルールややり方がわかりやすいエンカウンターの基本的なエクササイズを意識的に行った。
- ・ 係の仕事を一人一役にして、責任をもって取り組ませた。できたことを認める場面をできるだけ多くした。
- ・ 生徒と担任との二者面談を実施し、生徒の思いや願いを聞くようにした。

##### □ 9月の状況

図1のように、学級生活満足群が45%から61%と大きく増えた。また、学校生活意欲総合点が82点以上の生徒が7人から11人と伸び、この得点分布が一番多くなった。

侵害行為 認知群  14%→11% 【全国15%】	学級生活 満足群  45%→61% 【全国37%】
28%→18% 【全国31%】  学級生活 不満足群	14%→11% 【全国17%】  非承認群

(図1)